

全会計総額

一般会計は241億2千万円を計上。対前年度比7・9%増、17億7千万円の増

平成15年度の各会計（一般会計、6特別会計、水道事業会計）の当初予算総額は、439億5千613万円。昨年度の当初予算総額と比較すると5・0%の増となりました。

内訳は、一般会計が241億2千万円で、国民健康保険や学校給食事業、公共下水道事業、老人保健、簡易水道事業、介護保険の6特別会計の合計が181億8千100万円で、水道事業会計が16億5千513万円となっています。

各会計予算総括表

(単位：万円・%)

会計区分	平成15年度当初予算額	平成14年度当初予算額	比較増減	伸び率
一般会計	2,412,000	2,235,000	177,000	7.9
特別会計	1,818,100	1,775,800	42,300	2.4
国民健康保険	532,420	491,480	40,940	8.3
学校給食事業計	35,680	37,720	2,040	5.4
公共下水道事業	374,620	352,980	21,640	6.1
老人保健	624,000	653,860	29,860	4.6
簡易水道事業	4,950	3,260	1,690	51.8
介護保険	246,430	236,500	9,930	4.2
水道事業会計	165,513	173,879	8,366	4.8
収益的支出	94,240	94,747	507	0.5
資本的支出	71,273	79,132	7,859	9.9
合計	4,395,613	4,184,679	210,934	5.0

一般会計歳入

(単位：万円・%)

費目	平成15年度		平成14年度当初予算額	比較増減	伸び率
	当初予算額	構成比			
市税	506,278	21.0	517,437	11,159	2.2
地方交付税	534,000	22.1	556,500	22,500	4.0
使用料及び手数料	65,204	2.7	67,773	2,569	3.8
国庫支出金	276,914	11.5	263,547	13,367	5.1
道支出金	235,835	9.8	244,445	8,610	3.5
繰入金	159,016	6.6	141,440	17,576	12.4
諸収入	114,973	4.8	104,494	10,479	10.0
市債	399,700	16.5	199,420	200,280	100.4
その他	120,080	5.0	139,944	19,864	14.2
合計	2,412,000	100.0	2,235,000	177,000	7.9

一般会計歳出

(単位：万円・%)

費目	平成15年度		平成14年度当初予算額	比較増減	伸び率
	当初予算額	構成比			
1. 議会費	17,507	0.7	17,668	161	0.9
2. 総務費	100,034	4.1	112,027	11,993	10.7
3. 民生費	535,360	22.2	513,590	21,770	4.2
4. 衛生費	266,496	11.0	168,903	97,593	57.8
5. 労働費	14,284	0.6	21,167	6,883	32.5
6. 農林水産業費	8,274	0.3	9,620	1,346	14.0
7. 商工費	66,605	2.8	64,422	2,183	3.4
8. 土木費	388,119	16.1	437,157	49,038	11.2
9. 消防費	13,497	0.6	19,111	5,614	29.4
10. 教育費	220,766	9.2	98,513	122,253	124.1
11. 公債費	290,786	12.1	273,634	17,152	6.3
12. 給与費	485,272	20.1	494,188	8,916	1.8
13. 予備費	5,000	0.2	5,000	0	0.0
歳出合計	2,412,000	100.0	2,235,000	177,000	7.9

比較すると、一般会計が7・9%の増、特別会計が2・4%の増、水道事業会計が4・8%の減となっています。

平成15年度の予算は、長引く景気低迷の影響を受け、市税収入の減少や地方交付税収入の削減といった厳しい財政環境の中、市税や地方交付税などの確かな精査見積もりを行うとともに、経費全般について徹底した節減合理化と事務事業の見直しを行いました。

また、昨年度からの継続事業である新市民プール建設事業や火葬場建替事業などの大型事業も盛り込みました。

新規事業は、(仮称)登別温泉ふ

れあいセンター整備事業やキウシト湿原緑地保全事業などがあります。

また、市は「活気あふれる地域づくり」として、新産業創造活動事業補助や起業化支援事業補助、緊急雇用対策事業を実施し、新たな産業の育成、経済活動の基盤づくりに力を入れます。

一方で平成15年は、アイヌ民族に伝えられるカムイ・ユカラを初めて日本語訳した『アイヌ神謡集』を残し、19歳でこの世を去った知里幸恵さんの生誕100周年記念事業や登別・白石姉妹都市提携20周年記念事業など、観光・文化などまちの特色を表すことができる積極的な予算編成としました。

一般会計歳入

今年度も財源不足が生じる厳しい財政状況。財政調整基金など約7億8千万円の取り崩し

主な歳入では、財源の約4分の1を構成する市税が対前年度比2・2%減の50億6千278万円、地方交付税については4・0%減の53億4千万円を見込んでいます。

市債は、新市民プール建設事業充当債や地方交付税制度の改正から臨時財政対策債などもあり、100・4%の増となっています。

また、財源不足を補うため、財政調整基金積立金と減債基金積立金から約6億5千155万円を取り崩し、厳しい財政状況に対応します。

一般会計歳出

物件費や人件費の削減を図り経費全般について、徹底した節減合理化に努める

主な歳出を性質別にみると、生活保護や児童扶養手当などの扶助費が対前年度比6・5%増の33億6千589万円、新こみ処理施設建設の償還など公債費が対前年度比6・3%増の29億767万円などとなっています。

一方、扶助費や公債費の義務的経費が増加する中、徹底した節減合理化した物件費は対前年度比2・1%の減、人件費は対前年度比1・3%の減となっています。